

令和2年度 修了式 式辞

例年より早く春が訪れ、草花たちが、競って咲き誇る本日、令和2年度の修了式を迎えました。

令和2年度は、全国一斉の休校から始まりました。6月に学校が再開しても、今日に至るまで、新型コロナウイルスの影響で、社会は混乱し、学校の教育活動はことごとく中止またはやり方を変えての実施を余儀なくされました。この1年間、1、2年生の生徒諸君を含め、世界中の人々が、学校とは何か、健康とは何か、命とは何か、科学技術や医学とは何かを考えさせられました。学校で毎日、友達や先生方と勉強をしたり、部活動をしたり、昼休みに遊んだり語り合ったりすることは、当たり前なことではなかったのです。新種のウイルスが出現し、それが人間に感染するものであったら、世界中の人々は、薬が開発されるまでの間、なすすべもなく、外出を自粛し、マスクや手洗いをして、なんとか身を守るしかないのだということも分かりました。換気や手指の消毒をするなどの新しい生活様式により、不便になったことや、気を遣うことが増えました。しかし、コロナ禍の環境では必要なことであり、みんなが取り組むことで、はじめてその目的が達成されるということも分かりました。さらに、大変な思いで仕事をされている医療従事者の方々、外出制限などにより収入が激減した様々なお店の方々など、社会を支えるため、家族を支えるために身を粉にして仕事をしている方々の大変さを理解し、思いに寄り添い、温かい心で応援しようとする、豊かで優しい人間性も育むことができました。

このように激動の一年を過ごした君達にとって、これらの経験から得たもの、学んだことはたくさんあります。人と人が互いに支え合うこと、励まし合うことの大切さ、大変な苦勞をされている方々を理解し、寄り添う気持ちを持つこと、共に学び合うことの楽しさや喜び、差別や偏見、誹謗中傷などの愚かさ、取り上げたらきりがありません。みなさんはこれまでに誰も経験したことのない1年間をこの飯沼中学校で過ごしたのです。この経験が無駄にすることなく、今後の人生に活かして行ってほしいと思います。1年生も2年生も、この1年間、新型コロナウイルスに負けずに、先生方の指導のもとに、できることの中で、とてもよくがんばり、成長しました。校長の私は、君達が次の学年に進級し、益々がんばるであろうことが楽しみでなりません。

さて、先日、3年生は本校を卒業し、それぞれの道を歩み始めました。修学旅行には行けなかったけれど、部活の大会やコンクールは中止になったけれど、体育祭も合唱祭もできなかったけれど、彼らは決してその状況に負けることなく、よく学び、よく成長し、立

派な姿で本校を巣立っていきました。次は、君達2年生、その次は1年生が続くのです。先輩方を超えることで先輩方への恩返しをするのです。

この1年間を昨日、学年集会でみんなで振り返りました。今日は、一人静かに振り返り、仲間や先生方、そしてみなさんを誰よりも愛してくださっている保護者の方々にも感謝をしましょう。そして、4月から1年生は2年生に、2年生は3年生に進級します。春の新鮮な空気を胸いっぱい吸って、新たなる決意をする春休みとしてください。

令和3年3月26日 春日部市立飯沼中学校長